

喜界町



# 議会だより

188号

令和4年7月19日発行



喜界中女子ソフトテニス部  
大島地区大会優勝

主  
な  
内  
容

令和4年度 補正予算の主なもの	2
条例・陳情案件報告	3
一般質問に5名が登壇	4
行政視察報告	9
はがきアンケート	11
喜界町提出議題・議会のうごき	13
読者の声・編集後記	14



発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

# “物価高騰支援実施”

令和4年第2回定例会は、6月6日開会し6月13日まで8日間の会期で開かれた。6月6日は一般質問があり5名が登壇。また承認9件を承認、報告5件があり、議案3件陳情1件を各常任委員会に付託した。6月13日の最終本会議では、各常任委員会の委員長から報告があり、議案3件を可決。報告1件があり、追加議案4件、発委1件を可決した。

## 令和4年度 補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	喜界町光ブロードバンド管理費	県の農村整備事業で光ファイバーケーブルが あたる箇所工事費。場所:坂嶺集落の排水路 (県負担5百85万円、町負担65万円)	6,500千円
	防災災害対策費	不発弾処理のため需用費50万は土嚢袋代、役 務費7百50万円は土嚢作成から撤去・処分ま での手数料	8,000千円
企画観光課	喜界町夏祭り協賛会補助金	2年間、祭りを開催できず今年度の夏祭り寄付 金の拡充を図るため	3,000千円
	維持補修費	池治海水浴場にシャワーを設置	501千円
	工事請負費	スギラビーチアクセス道路整備にともなう、ア スファルト舗装(延長320メートル)	19,000千円
	養殖事業者試料支援事業	クルマエビ飼料高騰分の経費支援 飼料1袋当たり300円高騰分の支援	507千円
	漁業船舶燃油高騰支援事業	漁業者燃油高騰分の経費支援 1リットル当たり(上限40円)高騰分の支援	8,000千円
町民税務課	税務総務費	土地評価替えにともない不動産鑑定士に業務 依頼(委託料63万1千円)あらたに車体課税関 係負担金が追加になったため(地方税電子化協 議会負担金52万2千円)	1,153千円
農業振興課	農業者年金受託事業費	新型コロナウイルス感染症の影響で出張研修 が中止になったことによる返納金	179千円
	畜産事業者支援事業費	飼料高騰に係る経費を年間1頭当たりの飼料 高騰分1万円を支給	18,020千円

## 令和4年度 補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
農業振興課	糖業事業者支援事業費	肥料高騰に係る経費を5ヶ年平均の春植・夏植・株出面積×栽培基準の10a当りの袋数×値上げ幅400円を支給	35,228千円
	園芸事業者支援事業費	肥料高騰に係る経費を近年の栽培面積×栽培基準の10a当りの袋数×値上げ幅400円を支給	3,737千円
まちづくり課	道路維持費	島中地区の水路補修工事を3年計画で行う予定だったが、道路に陥没箇所が見受けられ、安全面から今年度で全工事を完了するため	6,000千円
	地域住宅交付金事業費	資材の高騰によるため (前年度比較 コンクリート1.19倍、鉄筋1.14倍、木材1.54倍)	5,300千円
保健福祉課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費	住民税非課税世帯へ10万円を給付するもので、これまでに給付された世帯以外が対象	55,024千円
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	低所得の子育て世帯へ18歳までの子供1人当たり5万円を給付するため。(支給対象者は、①令和4年4月分の児童手当、又は特別児童扶養手当の支給を受けている方で、令和4年度分の住民税均等割が非課税世帯。②新型コロナウイルス感染症により家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準の方)	8,520千円

## ◆ 条例・陳情案件報告 ◆

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第25号	辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づく総合整備計画について	10	0	原案可決
議案第26号	喜界町妊産婦支援条例の一部を改正する条例について	10	0	原案可決
	出産時宿泊費の助成期間を出産予定日前の31日分を限度としていたものを38日分に、妊婦健診は、1回の妊娠期間中につき14回を限度としていたものに、新たに産婦健診1回を限度とし助成すると改める			
陳情第7号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2023年度政府予算にかかる意見書採択の陳情について	10	0	採 択

# 一般質問 町政のここが聞きたい

第2回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
倉橋 博都 議員

## 伊実久・早町間及び湾港・池治線の道路工事は予定している

### 質問

伊実久・早町間、また湾港・池治線の町道の凹凸が多く見られる。梅雨時期に入り、凹凸に水がたまり、凹凸が大きくなっている。自転車、オートバイで登下校する高校生、また一般の方も危険を感じているのか伺う。

### 答弁

伊実久・早町間は本年度150メートル程度の舗装を計画、また湾港・池地線は、本年度220メートル程度の舗装を予定。

### 質問

早町小野津区間の通学路では変形したグレーチングが車に当たり、物損事故も起きている。大型車両が頻繁に通る道路において、特に見られる。

道路横断の蓋、グレーチングを

固定式に変更できないか伺う。

### 答弁

まちづくり課長  
物損事故を起こされた方には本当に大変申し訳なかったと思っております。町道における維持管理については道路パトロールによる日常的な点検を強化し、修繕箇所などの迅速な把握に努めていく。

固定式でないグレーチングの劣化が激しい箇所、あと、事故を誘発するおそれのある箇所は固定式へと速やかに変更する。

## 農作業中の安全強化

### 質問

2022年1月島外で、さとうきび収穫中に農業機械にひかれ、43歳の若い女性が亡くなっている。夫婦は二人でさとうきび収穫中にハーベスターがバックで進んだ際、後方で作業をしていた妻をひいてしまった。

死亡事故の原因の8割は田畑や用水路などに転落するなど、また夫婦で作業することが多く、特に女性の事故が多く見られる。女性限定の農作業安全研修を開いている。参加者に参加理由を聞くと、夫が教えてくれない、また夫の教え方が雑という声があった。

我が喜界町でも過去にハーベスター事故による死亡事故が発生している。

### 質問

農作業事故を防止することを目的とした安全週間を設定してはどうか、見解を伺う。

### 答弁

農業振興課長  
喜界町では、ここ5年間、死亡事故こそ発生していないが、毎年、農業機械を使用中の事故や熱中症といった農作業中の事故が発生している。事故件数を減少させることが重要な課題となっている。

国が毎年3月から5月と9月から10月、それぞれ春、秋の農作業安全確認運動重点期間と定め、取組方針を掲げている。本町においてもこの重点期間にポスター掲示や防災無線による周知を行っている。

さとうきびの製糖期前にはハーベスターオペレーター補助員を対象にした研修を行っている。

## カラス被害が深刻化

### 質問

最近では農家が作付したトウモロコシやカボチャ、また、牛舎では牛の餌を食べる被害等も出ている。

令和3年度のカラスの駆除件数は。

### 答弁

農業振興課長  
令和3年度のカラス駆除数は811羽となっている。



質問する  
土岐 和貴 議員

### 観光と漂流ゴミの関係性

#### 質問

本町に観光で来られた際、海岸沿いの漂流ゴミに驚かされている方々の声を多く聞く。

① 漂流ゴミについて、どのような協議を行っているか。

② 海岸漂着物地域対策推進費の予算見直しはできないか。

③ 町民と力を合わせて取り組む事業も必要ではないか。

④ 漂流ゴミを上手く活用し観光とリンクさせることは可能ではないか。

#### 答弁

町民税務課長／企画観光課長  
① 令和2年10月から4か月間、ごみ問題について特集を組んだ。海岸漂着物についても周知を行っている。海岸漂着物だけの協議会は今のところは行っていない。

② 補助金なしでは事業の拡大は難しいと考えている。国や県には増額をお願いしていく。

③ 予算は毎年800万円確保しているが、拾う予算だけでなく、処

分費にも回している。町民の皆様と協力できる、事業やイベントができればと考えている。

④ 海洋プラスチックを活用したアークセサリーを製作する事業者も出てきているので、御意見も拝聴しながら、今後検討していく。

### 旧荒木小学校の活用は地域との「繋がり」が必要不可欠

#### 質問

旧荒木小学校を活用したコワーキングスペースを開設。キッズコーナーや飲食が可能な場も新設予定。

① 飲食スペースはどのような施設になるのか。

② 島料理食堂（日替わり体制）で運営し、郷土料理や地域との繋がりを楽しむ場所づくりは可能ではないか。

③ 新事業での雇用創出や管理体制はどのように考えているか。

#### 答弁

町長／企画観光課長  
① 奄振交付金を活用し、コワーキング施設、フードコート、そして幼児向けのプレールームを完備した複合施設を整備予定。

飲食店は最大二店舗を想定している。キッズスペースは小規模な飲食スペースを設け、子供を遊ばせながら休憩できる施設を想定している。

② 集落の方々の日替わりで運営する方法は、団体等で組織化する必要性がある。

既存の団体があるのか、今後は総合的に検討していく。

③ 管理体制は、個人や運営会社の公募、入居する飲食店で管理委託を予定している。

### 「農業」と「福祉」の融合は島の新たな資源を生み出す

#### 質問

農家を対象に人材、労働力に付いてのアンケート内で農福連携を上げていただきたい。

① アンケート調査で分かった町民の理解度や就労を希望される農家の件数は。

② 今後の課題や取り組みは。

③ 企業、法人、民間向けに講演会を実施し、理解度を上げていく取り組みは可能では。

#### 答弁

農業振興課長  
① 農福連携による雇用を検討、希望している、今後検討していきたいを含め、9件の希望が上がっている。

② 障がい者の方の作業の指導方法や体調管理、心のケアなど、現場でのサポート面が課題。

③ 関係部署と連携を図り、今後検討していけるか協議を行っている。

### 真夏のマスク着用は非常に危険

#### 質問

政府は5月20日、感染症対策でマスク着用を必要としない場面について見解を発表。

① 町民への周知はどのように実施するのか。

② 子どもたちの登下校時や運動時のマスク着用は非常に危険であるが対応策は。

#### 答弁

保健福祉課長／教育長  
① 熱中症予防の観点からマスクを外すことや予防方法について、広報紙や防災行政無線等で呼びかけた。

対策の指針が改定され、マスク着用が必要でない場面ではマスクを外すことが推奨され、広報紙やホームページ、家庭向けチラシ等で周知を図っていく。

② 体育の授業や部活動及び登下校の際はマスクの着用は必要としないとしている。幼稚園児などの就学前の子供は他者との距離に関わらず、マスクの着用を一律には求めない。今後もマスクの着用と熱中症対策の両立に努めていく。



質問する  
良岡 理一郎 議員

**無料PCR検査3〜5月で3255名の利用  
7月以降も継続要請**

**質問**

本町でも無料PCR検査会場が開設され、多くの町民に感謝されている。検査実態について伺う。また7月以降も検査を継続すべきではないか。

**答弁** 保健福祉課長

検査数は3月96名、4月81名、5月148名。うち陽性者数は6名。無料PCR検査は6月も継続中、7月以降も県に対して継続を要請していく。

**3回のワクチン接種は4,527名  
81.3%、4回目は準備中**

**質問**

① ワクチン接種について3回目の実績、4回目の計画について。  
② 5歳から11歳への接種計画について。

**答弁** 保健福祉課長

① 3回目接種は対象者が5,567名、接種者が4,527名、接種率81.3%である。

今回の接種が1回の方2名、2回目の方が7名である。

4回目の接種計画についてはすでに3回目接種済の4,527名の内、60歳以上の方は全員に案内予定。18歳から59歳の方で基礎疾患をお持ちの方は申し出ていただくことになる。

② 5歳から11歳の対象者は382名、夏休み前には実施したい。

**ヤングケアラー全国調査では小学生の15人に1人、中学生の17人に1人  
本町でも実態調査を行う**

**質問**

ヤングケアラーとは「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」としている。

また、文科省と厚労省がこの間に発表した「ヤングケアラーに関する調査結果」によれば、小学6年生の6.5%（15人に1人）、中学生の5.7%（17人に1人）、全日制高校2年生の4.1%（24人に1人）がヤングケアラーである。深刻なのは、ヤングケアラーとい

う言葉自体を聞いたことがないと答えた人が8割を超えていることであり、行政や関係者の支援が届いていないことにある。

本町の実態調査と今後の対策について伺う。

**答弁** 町長／教育長

本町でもヤングケアラー実態調査を行う。今後、福祉、介護、医療、教育等関係部門の連携を密にし、支援に関する取り組みを推進していきたい。

**公民館改修工事は9月15日完了予定  
津波表示は全体として見直す**

**質問**

自然災害対策について

① 今年度公民館改修工事予定15集落の集落別進捗を伺う。  
② 本年1月16日深夜の津波避難の体験から、産業道路等の高台にある主要交差点に海抜表示を望む声がある。対応を求めたい。

**答弁** 総務課長

① 公民館改修工事は実施。すでに資材を発注済で9月15日に完了予定である。早町地区振興センターは別財源で対応する。

② 津波表示は、町内98カ所に設置してある。1月16日の津波警報時の経験を踏まえ、一時避難場所

の表示など薄れているもあり、全体として見直していきたい。



改修工事済の大朝戸公民館

**共同墓、2回の検討委員会を開催  
今後は課題を整理していく**

**質問**

共同墓（共同納骨堂、合葬墓）については、議会で実施したアンケートや日常的にも町民のみなさんから進捗についての問い合わせが多い。共同墓（合葬墓）への町民の関心と期待はとも高い。現在の協議の到達点と今後の方向性について伺う。

**答弁** 住民税務課長

住民代表を中心に検討委員会を設置。この間2回の委員会を開催し現状の把握、進める上での意見を交換してきた。

今後は既存宗教施設への影響、設立場所、戸数、金額設定、希望者の把握、管理方法について調査、検討していく。

「稼ぐ意識」「町民所得向上を



質問する  
野間 弘也 議員

令和元年度奄美群島の市町村所得推計では本町の人口1人当たりの所得額は223万円で、奄美群島12市町村中10位である。町民所得の過去5年間の状況について伺う。

答弁 税対策監  
答弁内容は、以下のとおりです。

喜界町民業種別年間平均所得 (単位千円)

職種 / 年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
給料	2,222	2,262	2,336	2,377	2,540
営業	1,860	1,920	1,807	1,614	1,953
農業	1,514	2,345	1,587	978	1,734
その他	1,023	920	939	893	946

課税者数 (単位人)

職種 / 年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
給料	2,082	2,038	2,044	2,054	2,044
営業	106	95	89	96	96
農業	160	237	162	103	158
その他	438	443	418	406	421

質問  
総生産額の過去5年間の状況について伺う。

答弁 農業振興課長  
答弁内容は、以下のとおりです。

農業総生産額(産出額)

R3年度	26億4,600万
R2年度	30億200万
H31年度	25億7,600万
H30年度	30億9,300万
H29年度	35億8,000万

質問  
これまでの町民所得、生産額向上の取組について伺う。

答弁 農業振興課長

○町単独事業での研修制度や国の支援事業を活用した新たな担い手確保の取組み。

○安定的な農業経営対策として、農業施設や農機具、肥料、農薬への補助、また緑肥や堆肥などの土づくりへの補助など、町単独事業や国、県の補助事業を活用した支援。  
○資金貸付制度について、農家の経営状況に応じた相談などを随時実施し、補助事業や各種制度について、事業説明会や座談会、広報紙等で農家へ周知を図っている。

○人・農地プランの実質化に向けた取組では、5年、10年後、地域

農業を誰が担っていくのか、農地をどう守っていくのか、地域の農業の在り方について話し合いを行っている。  
○農地の大区画化、集約化を進め、農作業の大型機械化、スマート農業への対応に努め、作業の効率化を図っている。

答弁 企画観光課長

○商工会との連携により、地域企業経営基盤強化、商工会イベント支援事業等を行い、地域経済の活性化に努めるとともに、商工会利子補給補助により商工業の育成と振興を図ってきた。

○コロナ禍における各種事業者支援として、地方創生臨時交付金を活用した観光関連事業所支援金、販路開拓・新商品開発補助金、やーじかもー推進協議会補助金、宿泊業・飲食業感染対策助成金、オンラインイベント等支援事業補助金、クーポン券事業実施等、直接的な支援を行ってきた。

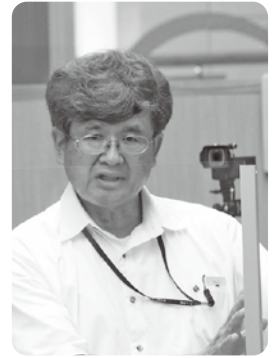
○奄振交付金を活用した条件不利性改善事業として、航路航空路運賃軽減事業、水産物輸送・加工品輸送コスト支援補助金、ふるさと納税返礼品拡充、町漁業運営補助金、離島漁業再生支援事業、ジオパーク推進事業、観光アブリ導入事業等を実施してきた。

質問  
今後の取組について伺う。

① 島外からの貨幣(外貨)取得について。  
② 島内での消費拡大、経済流通への取組について。

答弁 町長

コロナ禍で社会情勢が大きく変わり、当たり前ではなくなりました。新たな発想、若い世代の感覚も大事だと考える。SDGsへの取組などで環境保全対策が叫ばれている中、持続可能な農業を推進するため、堆肥センターを建設し循環型による土づくりの推進を目指している。2期目の地下ダム事業も始まり稼げる農業、魅力ある農業を実現したい。  
① 農業版ハローワークを開設し、農家の労働力不足解消、働き手の副収入の確保、島外からの人材受け入れによる外貨の取り込みなど、移住定住への足掛かりにしていきたい。ふるさと納税事業のさらなる拡充や企業版ふるさと納税の取組、サンゴ留学、ジオパーク推進事業、アカデミック観光の推進、奄振交付金による奄美群島周遊観光推進事業の活用等、環境整備を含め、体験型事業の実施による外貨の取得と共に新たな人脈の取得に取り組んでいく。  
② 町内消費の拡大では、プレミアム商品券や「店やーじかもー」などのサイト活用も欠かせないと考えている。



質問する  
生島 常範 議員

### 発電所の防潮堤建設は事業所の防災計画を尊重

① 南海トラフ地震予想津波は6m。塩道に有る発電所は海拔3m。県の防災アドバイザーの指摘を受け、防災計画策定中の町もある。国・県に防潮堤建設等要望出来ないか伺う。

② 111年前の明治44年6月15日深夜、南西諸島では有史以来最大規模（震度6）の「喜界島地震」が発生した。防災・減災意識の啓発のため、6月15日を「防災の日」に制定出来ないか伺う。

#### 答弁 町長

① 自治体の範疇を越えた案件で九州電力の防災計画を尊重すべき。防潮堤が切れていることは認識しているが、事業所抜きでは検討できない。防災アドバイザーに依頼して防災関係内容を周知することは実施したい。

② 「喜界島地震」や平成7年10月の「喜界島沖地震」の史実を町民

に伝え、後世に語り継ぐ事が大事。議会で「防災の日」制定するなど段階的に行うほうがよい。

### 「学校応援団事業」は工夫する

① 「学校応援団事業」は学校の活動だけに終わる事が課題。県が進める事業も併せて検討した結果を伺う。

② 群島内にはスクールバス通学を実施する私立高もあり、それが魅力で通う生徒もいる。一島・高存統、バイク通学生や将来の留学生の不安材料を取り除くため、高校生へのスクールバス利用拡大は検討できないか？

#### 答弁 教育長

① 学校応援団の課題は、応募が少ない、講師が特別の知識、技能に固定化、形骸・マンネリ化等があるため工夫する。県は「鹿児島地域学校協働活動」に移行する動きだが、人材確保等課題があり、本町では取り入れる考えはない。

② バスの定員、始業・終業時間の違い等の問題の他、生徒の心理発達等を含めて高校側と意見交換した結果、現実的ではないが、特別な事情や今後必要性が生じた場合は個別に検討する。

### 図書館・中央公民館入口前に身障者用駐車場新設

#### 質問

① 町体協同様、町文協に「地区文協創設を」の検討結果を伺う。

② 早朝、船便利用者の交通手段改善の進捗と、過去に4年間バスが早朝港まで運行した実績も提示可能か、いつ解決するのか伺う。

③ 志戸桶沖名泊の旧公衆トイレ。観光客は大変困っている。進捗を伺う。

④ 「第3(日)は美化活動の日」の周知を要望した。クリーンセンターも午前中開場、学校も部活動開始時間を変更して支援している事等も周知できないか。その後の進捗を伺う。

⑤ 図書館、中央公民館前のバリアフリー化の進捗を伺う。

#### 答弁 教育長／町長／企画観光課長

① 地区文協の創設は本来の目的とはずれる上に、運営面の難しさ等から、解体再編か別組織が望ましいとのこと。持続可能性等も懸念される。

② 3月に1回目の協議会を開催し、年3回程度開催予定。具体的内容は決定後報告する。いつまでにと明確に言えないが、関心が高い早朝フェリーの送迎問題は早く改善したい。

③ 現地確認調査を終え、今年度

はトイレを含む公園施設等の改修、新設の必要性、事業導入可能か等検討する。

④ 美化作業実施状況等調査結果は次の通り。統一実施を要請するのは適切ではないと思う。行事カレンダー、広報誌での啓発の有り方は今後も検討する。

施設利用案内 クリーンセンター ☎65-3341	年末年始(12/31～1/3)を除く ■月～土 8:30～12:00 13:00～16:00	〔備考〕 日曜日は休みです。 第3日曜日の午前中のみ開場します。 年始は1月4日から通常営業です。
	■第3日曜 8:30～12:00	

クリーンセンター開場案内

(1) 「第3(日)は美化活動の日」と認識している・・・(92%)		
(2) 毎月実施(11集落)	第3(日)に実施	10集落
	第3(日)以外に実施	1集落
(3) 不定期実施(24集落)	第3(日)に実施	14集落
	第3(日)以外に実施	10集落
(4) 実施日について	第3(日)限定希望	4割
	限定不要	6割

⑤ 図書館と中央公民館の入口前にそれぞれ身障者用駐車場を新設して、手すりを装着し一体的に整備する。関係業者と調整し早期に実現したい。



## 行政視察報告

## 地域に根付いた交流人口、就労支援の取り組み

龍郷町荒波地区の荒波龍美術館  
(あらばりゆうびかん)

## 【事業取り組みへの経緯】

竹田泰則龍郷町長より、龍郷町全体では人口が増加している傾向にあるが、荒波地区においては、人口減少と少子高齢化が著しいことから、地域住民の想い要望を最大限活用することで、地域に根付いた事業構築に取り組みめるのではないかと考えた。

## 【事業実施までの動き】

平成28年度、地方創生加速化交付金を活用し、人の流れを生み出し、地域の稼ぐ力の創生を目的とした「秋名幾里魅力化プロジェクト」をスタート。大学の学生による地域の魅力や資源の掘り起こしでフィールドワーク（現場での調査研究）と、地域住民を交えたワークショップを開催。「訪れる人が食

事や宿泊ができる場所」が挙げられた。

平成29年度、地域活性化センター補助金を活用し、龍郷町では初めて採用となった、地域おこし協力隊員を中心に、住民が受け入れ主体となり、地域の伝統行事を活用した体験ツアーの実証事業の開催「地域として観光客を受け入れる体制の構築」を図った。

平成30年度、奄美群島成長戦略推進交付金を活用し、地域住民の有志によって「一般社団法人（いもれあきな）」が設立、空き家を改修したゲストハウス「がま家」の運営をスタート。

令和2年度、「荒波龍美術館」運営開始。令和3年1月には、たつごう移住ガイドセンター「住もうデー」を開設。移住相談窓口として運用し、移住者受け入れ増加への取り組みを行っている。

## 龍郷レンタルサイクル

## 【Eバイク】

## 【Eバイクとは】

モーターの力でペダルを回す力をアシストするスポーツタイプの自転車で、長距離や山越えも、Eバイクが体と心理的負担を軽減できる自転車として注目されています。

## 【喜界町でも取り組みが検討】

世界で脱炭素社会の取り組みが行われる中、喜界町の地理的条件などを鑑みると、ニーズのある取り組みではないか。

## 【所感】

町全体から地区や集落に応じた施策は、地域住民と共に作り上げる事業展開に繋がり、課題解決に継続的、発展的に取り組めるのではないか。具体的には、

① 各家庭の家庭料理を日替わり

で提供。

② 一般社団法人設立には、地域おこし協力隊員を中心に、地域住民の参加、出資による設立は参考になると考える。

## 就労継続支援B型

## 【あまみん】

## 【就労継続支援B型とは】

企業、団体に就職することが困難な障害者の方に、就労に繋がるよう支援を行う施設。

## 【あまみんの概要】

「あまみん」の代表取締役、田中さんは埼玉県出身で、琉球大学を卒業後、28歳で信州大学医学部保健学科に入学、32歳で作業療法士となり、沖縄の精神科病院で、精神ケア、精神科訪問看護及び退院前訪問に従事。40歳で奄美大島に移住、奄美病院付属精神

科訪問看護ステーションに勤務。その後「あまみん」を起業し現在6年目。

スタッフは、作業療法士、精神保健福祉士、ヨガインストラクターなど多種多様で10名です。利用者の登録数は30名で1日平均約20名が通所。男性は、統合失調症の方が多く、女性は気分障害系が多い。運営費用については、国の補助金をさまざまな分野で多くの申請を行い、現在、龍郷町からの助成金には頼らない運営を行っている。

施設は、ジェラート（氷菓子）を製造する加工所、販売所、農業ハウスがあり、その他に交流が図れるフリースペースが整備されており、のどかで遊び心のある施設。

### 【就労体制・仕事内容】

外作業（農福連携） チーム、食品加工・ジェラートチーム、パソコンチーム、リワーク（職場復帰に向けたリハビリ）に分かれており、利用者に応じた就労体制に取り組んでいる。

就労継続支援B型は、稼いだ分からしか工賃を出してはいけないルールがあるため、原料の生産、加工、販売、マーケティング、事務作業をチームで役割分担し連携す

ることで、売上向上につなげ工賃増額に取り組んでいる。そのなかで、奄美群島の食材を活かしたジェラートを製造販売。マンゴー、パッションフルーツ、たんかん、黒糖、月桃、はちみつ、塩、などで、喜界島の白ゴマを使用した商品も販売。また、地域農家での作業を行い、対価として作物を頂くことで商品製造のコスト削減につなげている。

### 【「あまみん」が目指す取り組み】

地域ぐるみの6次産業化で奄美らしい農業加工品を県外に出荷し、工賃、充実感、地域力アップを図り、就労支援だけではなく、障害者雇用の推進を図り、就職先の構築につなげることを目指す。

### 【所感】

田中さんの自助ある運営、それに共感を持つ方が協力する共助、国の力を活用する公助。事業を展開するには、田中さんのような人材の育成・確保の必要性を強く感じました。また地域の風土、生活の実情や歴史、利用者の方の将来を見据えるなど、対処法ではなく根本からの解決を考えた施策や事業展開を考えなければならぬと感じた。



就労継続支援B型「あまみん」

龍郷町荒波龍美館  
(あらばりゅうびかん)



皆様からお寄せ頂いたアンケート内容は広報委員会にて協議し掲載致しております。第2回はがきアンケート内容は先月号（第187号）から2回に分けて受け取り順にご意見・ご感想を掲載致します。尚、個人・団体等への誹謗中傷と判断した内容がある場合は掲載を控えておりますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

## ◆「議会だより・議会」に対する意見（はがきアンケート）

一般質問を全議員でもっともっと、頑張ってください。  
【年代:不明】

いつも町民の為に活動して頂き、ありがとうございます。コロナ対策についてマスクやワクチンのメリットばかりでなく、デメリットも伝えて頂きたいです。ワクチンの副反応報告は厚生労働省のHPにも記載されており、治験中でもあるので安全だとは言いきれないと思います。5～11歳接種券の一律送付も賛成出来ません。マスク着用で、口呼吸になったり、低酸素による脳への影響、頭痛、表情がわかりづらくコミュニケーション不足など、特に子供への悪影響が懸念されます。過度な消毒は常在菌までも減らしてしまい、コロナ対策が行き過ぎると健全な子供の発育、成長が阻害されるのではと心配です。全てにおいて、メリット、デメリットを踏まえ、個々が判断して行動出来ればと思います。  
【年代:30代】

町議の皆様、喜界町の発展の為に頑張ってください。ご苦労様です。湾港公園でグランドゴルフをさせてもらえませんか？週一回友達4人です。歩いていくのに近いので、よろしくお願い致します。【年代:80代】

2月6日キカイジマニモウイルスガキテカラ2月9日カラヨヤクノキャンセルデス ダイダゲキモウケテイマス（カンコウギョウ）コロナノナカ イツマデナノカフアンデココロイタミマス。【年代:不明】

日々、喜界町の為に活動に励まれている事と思います。しかし、その活動が表にはあまり見えてこないとの声をよく聞きます。こういった事から「議会だより」に以下の事を掲載してはいかがでしょうか？1ページ使い、議員1人の現在の活動状況具体的に現在の思い「今とりにくんでいる事」各号1人が2人づつ。  
【年代:不明】

町民の小さな声にも耳を傾けて真剣に考え、具体策に向けて取り組む議員の方々の姿勢に深く感銘しています。今後の活躍に期待します。  
【年代:60代】

空港の待合室が狭い。特に荷物の受渡しエリアが狭く、私はコロナウイルス感染予防を考えて強風・大雨時でも外で待機している。そのようなことで、空港の改修等を希望します。【年代:70代】

議会だより毎回楽しみにしています。ですが質問する人は毎回しています。出来ない人もいます残念です。何の為に議員になったのかと思います。島のためにがんばってほしいです。【年代:70代】

町営共同墓は、是非とも作ってほしい。空き家の木のバツサイが大変です。良い方法はないものか。軽石の回収を早くしてほしい。【年代:60代】

人口減少・島の経緯の先読んだ対策などもう少し、懸念される実状を分析して活潑な意見がほしいと感じる。【年代:60代】

交通量の多い交差点への信号機もしくはミラーの設置を検討してはいただけませんか。  
【年代:40代】

喜界町は安心して子育てできるいい島です。赤連・湾中里に子育て世帯が多いのですが、公園が少ないです。また、室内でも遊べる児童センターがあると、雨の日などでも友達と遊べてとてもよいと思います。よろしく申し上げます。【年代:40代】

---

---

喜界町も高齢が進み白内障の患者が多いので島外に手術に行くのは大変です。徳洲会病院で手術が出来るよう要望してほしいです。

【年代:70代】

---

186号の議会だよりに津波について防災気象情報の用語を学びました。有難う御座いました。私達の災害は何時、処で、どんな時に目前に来ないとも限りません。地震や津波に備えて常日頃に家族が避難場所、逃げる道順等話し合いをして又集団避難の場所も決めて置けばいざと言う町の防災無線に耳を傾けたら自己判断で決められた避難場所へ安心感が考えが思いつくでしょうと思う次第です。

【年代:80代】

---

先日、一般質問の応答が活発で頼もしい議会でした。各自90分という持ち時間をフルに活用して、これからも大いに町民の声を議会に届けて下さい。みなさんを応援しています。【年代:60代】

---

福祉に強い島づくりをお願いします。ということは、誰もが、暮らしやすいのではないのでしょうか。小さい島だからこそ、全島民で取り組んで、オーガニックの島を目指して下さい。さとうきびから、ガーデニングまで。ちばりよ〜! 【年代:40代】

---

若い議員が、頑張っているのが心配ない。ガンバレ若い議員。【年代:80代】

---

町民のために役立って下さいね。【年代:60代】

---

---

### はがきアンケートにご協力いただいた皆様へ

この度は、お忙しい中のはがきアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、貴重なご意見を多数いただくことができ、今後の議会活動に活かして参ります。

尚、お手元にはがきアンケートをお持ちの方は2年間有効となっておりますので今後もお気軽に、ご意見等お寄せ下さい。

女性議員の誕生を期待します。戦中最後の沖縄県知事(1945年1月赴任)島田あきら(軍に抗した官僚の気骨)(ただまっすぐ)信念。

【年代:50代、80代】

---

前から気にかかっていた「野良猫対策」について質疑応答がありうれしくおもいました。動物病院側への少しでも助成があればと思っています。島の方々はすぐ助かっていると思います。一人暮らしの高齢者の多頭飼いや対策もお願いします。猫が癒しとなっておりますので。【年代:60代】

---

「議会だより」毎回拝読しております。子供たちの為に陸上競技場を進めて欲しいと思います。

【年代:60代】

---

町民が楽しく運動できる場を作って欲しい。年齢問わず、特に若年層の体力作り、親睦を深める場があることで、魅力を感じ喜界島をもっと好きになると思う。空き缶・お菓子の袋等のポイ捨てなんとかならないでしょうか? 【年代:80代】

---

議会に対する意見は特にありません。しかし、町政に対する意見多々あり、1人1人の議員・議会は次の事、把握しているかな?

①スズメバチのこと、1件無線放送があったのみ。他に3集落で見ついているが知らない人がたくさん(集落の人でさえ)

②トンガ地震津波警報時の避難放送がとてとても遅い、何の為の災害無線。

③コロナ感染の放送が形式的、いい加減、あきれている等々。何の為の町行政の仕事しているの?と思う事あり。【年代:不明】

---

島の行政がわかりやすくまとめられている。子育て世代として必要な保育所の改築もされて適切に運営されていると思う。引き続き続けてほしい。

【年代:30代】

第63回奄美群島議会議員大会において  
喜界町から議題提出を致しました。

## 島外治療の交通費等助成について

喜界町では医療体制には限りがあり高度な治療や専門的治療を要する際、島外の医療機関での治療、診察を受けなければならぬ。その際、交通費、宿泊費など多額の費用を要します。それに加え休業、休職を余儀なくされ収入も減少する方も少なくありません。また子供や高齢者については、付添を必要とすることが多く、本人以外の費用も負担となります。

喜界町では町民の健康を守るため特定健診の受診率向上への取り組みや若年層（20歳～39歳）の健診費用の助成を行い、病気の早期発見、早期治療に取り組んでおります。今後は、幼少期からの食育や睡眠、運動のあり方など町民生活の原点を見直し免疫力向上を図り、病気にならない取り組みを検討していきます。

しかしながら、病気やケガ、生活習慣病の発症等で、島外での治療、診察を余儀なくされた際に経済的精神的に苦悩しないよう、負担軽減に向けた島外治療の交通費等助成制度の早期実現を強く要望致します。

## 議会のうごき（7月～8月）

- 7月22日（金）…………… 離島振興議長会総会 オンライン会議 議長  
7月28日（木）～ 30日（土）…………… 奄振予算要請活動（東京）議長  
8月 4日（木）…………… 市町村政研修会（鹿児島）議員全員

**ご案内** 次の議会は、9月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。  
（動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。）

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

読者の声

直に肌を感じる「ライブ」が一番

得本 陽子（赤連）

今では、議会の傍聴に行けない時はインターネットでユーチューブを利用して視聴することができま  
す。便利な世の中になったもので、スマホでもパソコン  
でも、畑でも庭でも、スマホやWi-Fiの電  
波さえあれば何処でも視聴することができます。

喜界町議会一般質問の毎回のユーチューブ再生回  
数をみると、100回以上500回未満と町民  
の関心は高く、これは町民の議員に対する期待の  
表れといえます。

このように便利な世の中ですが、みなさんは直  
に感じる傍聴に行かれたことがありますか？

質問に立つ議員の皆さんの一生懸命さ、それに答  
える行政の方たちの姿勢等がストレートに傍聴席  
にも伝わってきます。各自に与えられた質問時間  
は90分。議会運営ルールに従い、いかに有効にそし  
て簡潔に議論を深めるかその真剣さが肌感じら  
れます。

やっぱり議会もスポーツ観戦同様「ライブ」が一番。  
是非、誘い合って、議会の空気を直に肌感じて  
みて下さい。

毎議会後に、町内全戸に紙媒体での「議会だ  
より」が配付されます。しかし、これもまた、  
インターネットの喜界町ホームページで読むことが  
可能です。つまりスマホやパソコンがあって、電波が  
届けば日本中何処でも、大げさに言えば世界中

どこにいても読むことができ、全く、便利な世の中  
になったものです。

けれども、やっぱり議会もスポーツ観戦同様「ラ  
イブ」が一番。

活字よりストレートにその場の空気が伝わる「ラ  
イブ」が一番。

みなさんご存知の通り、4月の広報きかいで「議  
会報告会」の初開催が案内されており、多くの町  
民がそれを期待していたことかと思えます。しかし、  
非常に残念なことにコロナ禍で延期となってしまいま  
した。

12名の全議員が一堂に会して、議会の日頃の活動  
を報告し、町民が直にそれを聞く機会は今ままであ  
りませんでした。ですから、議会と町民が情報を交  
換し、意見を述べ合うことは、とても大切で意義深  
いことだと思えます。そうすることで、町民が議会  
の活動の様子を知り、議会をより身近に感じるこ  
とができるいい機会にもなります。また、それを通じ  
て島の未来を一緒に語り、何かを生み出していくき  
かけになるでしょう。

そういう意味では「議会報告会」も、議員と町  
民が直に向い合い、思いがストレートに伝え合える「ラ  
イブ」が一番。

今回は残念でしたが、是非、早めに開催されるこ  
とを期待しております。これから「議会報告会」  
が継続的に開催され、老若男女の活発な意見交換  
がされることで、議員と町民が共有できる島の未来  
図が具体的に形作られていくことを願っています。

編集後記

近年、多くの企業や諸団体では自ら消  
費者や住民に知らせる広報活動だけで  
なく、国民を始め広くステークホルダー  
(利害関係者)の皆さんからご意見・ご要  
望を伺う広聴活動の取り組みを強化し  
ています。

喜界町議会でも、町民の皆さんへ親し  
まれる「議会だより」を目指すのは基よ  
り、「はがきアンケート」を通じて多くの  
町民の声を頂いております。この間2回  
のアンケートでおよそ130名の皆さん  
の貴重なご意見、ご要望、叱咤激励は今  
号も含め「議会だより」に掲載しお届け  
しています。また今後の議会、議員活動  
に活かして参ります。

これからも、親しまれる「議会だより」  
の発行を目指しつつ、町民の皆さんの声  
を大切に活動に層努力してまいり  
ます。

文責 良岡 理一郎

委員長 良岡 理一郎

副委員長 倉橋 博都

委員 野間 弘也

委員 生島 常範

委員 米田 信也

委員 土岐 和貴

